

どのような仕事があるのだろうか？

お家の人や近所の人、身近な人はどのような仕事をしているのだろうか。

[illegible]

みなさんの生活には

どのような会社に関係しているのだろう？

朝から晩まで、いろいろな製品を使い、サービスを受けている。時間で考えてみよう。

このほかにもいろいろある。考えて、記入してみよう。

時間	シーン	関連する会社
朝	起床	時計を作っている会社、布団を作っている会社
昼	食事	農家、食品をつくっている会社、食器を作っている会社
夜	テレビを見る	テレビを作っている会社、電気を供給する会社、番組を作っている会社

色々な会社があり、そこにいろいろな職業がある。
では、自分にあった職業はどうやって選ぶのだろう。

仕事で扱うものは大きく分けると

- ・ひと
- ・もの
- ・データ
- ・アイデア

があります。

何に興味があるか、2 つまで書いてみましょう。

() と ()

では、関心があるものではどんな職業が考えられるのでしょうか？

●ひと → 人に伝える、教える、手助けする仕事。人の助けになることがうれしい。
友好的。例：教育や保育、カウンセリングなど。

●ひととデータ → 他人を導いたり他人に影響を与えたりする仕事。リーダーシップ
を取ることも多い。例：商品・サービスの販売や人の管理など。

●データともの → 情報を明確に秩序立てて整理する仕事。組織的で責任感が強い
タイプ。例：記録管理、計算、コンピュータ操作、システム開発など。

●もの → 現実目に見て触れる仕事。道具、機械、動物、ものなどを扱うことが
好き。地に足がついていて実践的。例：組立や修理に関する仕事。技術職など。

●ものとアイデア → 好奇心が強い。基本となる考え方を作り上げることが好き。
例：科学者や医師、研究職など。

●アイデアとひと → 枠組みにとらわれずに新しい考え方を創り上げていく。発想
が自由。例：アーティストや言語、音楽、美術、演劇など創造的な才能が活かせる
仕事。

例にあげた職業は一例です。

でも、今は

- ・興味や能力、長所などを自分でいうことができること
- ・人にはそれぞれ個性があり、その違いを認められること
- ・成長や変化が大切であることを知ること
- ・いろいろな勉強の大切さが分かること、努力すること
- ・仕事と学業の関係を知ること
- ・色々な仕事があり、それぞれが社会に役立っていることを知ること
- ・一人の人が多くの役割（たとえばお父さんはお父さんでもありますが、会社員であり、おじいさんからみれば息子です。近所の人からは地域の人です）を持っていることを知っていること
- ・人と協力することの大切さを知っていること

が重要です。それがきっと将来役立つに違いありません。

さあ、夢にむかって前進です。